

記入例

大学協議会提出履歴書 様式第1号

任 用 候 補 者

201*.10.10 文学部教授会 承認

201*.10.22 大学協議会

国籍 日本国		根拠となる規程	立命館大学教員任用・昇任規程			
		適用条項	立命館大学教員選考基準 第3条第1号			
ふりがな 氏名	すざく たろう 朱雀 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女	生年月日 (年齢)	1975(昭和50)年10月1日 (任用時35歳)		
現職	**大学人文学部 専任講師	所属	文学部		任用 職名	准教授
学科専攻名 (専任必須)	人文学科		任用日付 (専任必須)	2011年4月1日		
担当科目	学 部：イギリス文学概論 ・ 大学院：英米文学特殊講義		任用期間 (期限付任用)			
最終学歴	立命館大学大学院文学研究科英米文学専攻博士課程前期課程 修了					
学 位	博士(文学、立命館大学)2003年9月取得					
博士学位 論文名	「イギリス・ルネサンス演劇論」					

教 育 実 績			
	期間	教育を行った機関	主な担当科目
学 部	2000年4月～現在に至る 2003年4月～現在に至る	立命館大学文学部 **大学人文学部	異文化理解、英米文学講読 文学概論、イギリス文学史ほか
大学院	2008年4月～2009年3月	*大学大学院文学研究科	現代アメリカ文学特殊講義
その他	2006年7月*日	**市教育委員会	市民向け教養講座「演劇を楽しむ」
教育上の能力を示す資格(例：TEFL、TESOL等)			
資格名		(取得年)	

教授会・研究科委員会 事務局記入欄

教職員番号 1200345	任用理由： <input checked="" type="checkbox"/> 退職者補充 ・ 前倒し任用(/ 学部長会議承認分) ・ <input type="checkbox"/> 欠員補充 ・ <input type="checkbox"/> 増員 ・ <input type="checkbox"/> 役職者補充 ・ <input type="checkbox"/> その他()		
専門分野分類	分野名	人文科学・文学関係 (CD A1)	
最終学歴の学位証明書確認	<input checked="" type="checkbox"/> 済 ・ <input type="checkbox"/> 未	健康診断結果	<input checked="" type="checkbox"/> 就業可 ・ 検査結果待ち(/ 判明予定)
学事課記入欄	教員組織コード :	教員組織名称 :	

教員の個人調書

(その1)

履 歴 書				
ふりがな 氏 名	すざく たろう 朱雀 太郎	男・女	生年月日 (年齢)	1975(昭和50)年10月1日 (任用時35歳)
国 籍	日本国	現住所	〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1-2-3	
学 歴				
年 月	事 項			
1991年4月	立命館大学文学部文学科英米文学専攻入学			
1995年3月	立命館大学文学部文学科英米文学専攻卒業			
1995年4月	立命館大学大学院文学研究科英米文学専攻博士課程前期課程入学			
1997年3月	同上 修了			
1997年4月	立命館大学大学院文学研究科英米文学専攻博士課程後期課程入学			
2000年3月	同上 単位取得退学			
2003年9月	博士(文学、立命館大学) 取得			
職 歴				
年 月	事 項			
2000年4月	立命館大学文学部非常勤講師(現在に至る)			
2003年4月	大学文学部嘱託講師(2004年3月まで)			
2004年4月	**大学人文学部専任講師(現在に至る)			
学会及び社会における活動等				
年 月	事 項			
	所属学会: イギリス演劇研究会、イギリス中世文学会			
2004年4月	**市教育委員会委員(2008年3月まで)			
賞 罰				
年 月	事 項			
2008年10月	出版社ベスト翻訳賞を受賞(+++氏著「中世イギリスの抒情詩」により)			
職 務 の 状 況				
勤 務 先	職 名	学 部、学 科 等 (所属部局)の名称	担当科目名等勤務の状況	備 考
**大学	専任講師	人文学部	文学概論、イギリス文学史ほか	
立命館大学	非常勤講師	文学部	異文化理解、英米文学講読	集中科目を含む

(その2)

教育研究業績書

氏名 朱雀 太郎

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例	2004年4月	大学 学部で開講した基礎専門科目「 」において、 適宜コミュニケーションパ-パ-を使って、学生から授業の感想・要望を聴取し、授 業改善に生かした。また、疑問点等は、次回の授業で回答するなど、学 生との意思疎通を図った。
2 作成した教科書、教材		なし
3 当該教員の教育上の能力に関する 大学の評価 (専任必須)	2001年4月 2003年4月	「 科目」は、 大学において、先進的な教育実践であるとの評価 を受け、2000年度「先進的教育実践支援制度」により支援金を得た。 2002年度における教育実践が先進的で有効であるとの評価を得て、 大学の”Teacher of the Year”に選ばれた。
4 実務家教員についての 特記事項	2008年8月	+ +県の司書教諭研修会において、「イギリスにおける印刷の歴史」を 講演した。
5 その他		なし

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格、免許		なし
2 特許等		なし
3 実務家教員についての 特記事項	2007年度	英国**博物館の依頼により、日本で上演されたイギリス演劇の調査報 告書を作成した。
4 その他		なし

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、共著 の区別	発行又は発表の 年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会 等の名称	概 要
(著書)				
1 『書名』	単著	19XX年X月	出版	p.
2 ”Book Title”	単著	20XX年X月	Univ. Pr.	***p.
3 『書名』	編著	20XX年X月	出版	p.
4 『書名』	共著	201X年X月	出版	氏との共著、pp.123-200を担当

(学術論文) 査読あり				
1 「論文名」	単著	19XX 年 X 月	『発表誌名』、発行機関名	巻 号、pp.88~99
2 "Article"	単著	20XX 年 X 月	"journal"、publisher	Vol.21,no.10 pp.101~220
3 「論文名」	共著	201x 年 x 月	『発表誌名』、発行機関名	C 氏および D 氏との共著、 巻 号、担当部分、pp. **~**
(その他)				
[翻訳]				
1 (原著者名) 『書名』	単独訳	19XX 年 X 月	出版	***p.
2 (原著者名) 『書名』	共同訳	20XX 年 X 月	書店	E 氏、F 氏および朱雀太郎の共同訳、担当部分、pp. ~
[調査報告]				
1 『調査テーマ』	単独調査	19XX 年 X 月	『発表誌名』、発行機関名	巻 号、pp. **~**
2 『調査テーマ』	共同調査	20XX 年 X 月	『発表誌名』、発行機関名	朱雀太郎、I 氏および J 氏の共同調査、巻 号、pp. **~**~
[学会報告]				
(国際学会・査読あり)				
1 「報告テーマ」	単独報告	19XX 年 X 月	学会名	大会名称、開催地・開催場所
2 「報告テーマ」	共同報告	20XX 年 X 月	学会名	K 氏、朱雀太郎および L 氏の共同報告、大会名称、開催地・開催場所
(国際学会・査読なし)				
1				
2				
[その他]				
1				
2				